

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎韓国語		選択必修	1	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
成 昌 燮	D304	syosyo_sei		メール	
授業の目的・概要	隣国である韓国の文字を覚えるとともに、この言語の構造を理解する。韓国語の発音ルールを覚え、簡単な日常挨拶文が読める、書けるようにするのを目的とする。 課題に対する学習や同時双方向型授業を通し、教科書の学習内容の音声を聞きながら確認する。練習問題は教科書あるいは送付プリントに書き込み添付ファイルで提出する。フィードバックとして課題提出物の添削・返却(返信)する。				
学習上の助言	韓国語の基本母音・子音・合成母音・パッチムを正確に発音し書けるように練習する。文法的に日本語に似ているが、難しい発音があるので、聞き取り・書き取りにポイントをおいて練習する。必要な内容は DVD を鑑賞しながら確認し、理解を深めて欲しい。				
教科書	トライ韓国語 1 /著: 朴校熙・黄善英・崔昌玉・木村春菜 /白帝社 /2011				
参考書	指定参考書なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	言語の構造を理解し、文字を覚える。			HSU(2)	
②	日常会話ができるように、簡単な会話文を書けるようにする。			HSU(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	韓国語の言語名称、文字の成立、言語の特徴を学ぶ。 基本母音 10 個+合成母音 4 個を学ぶ。 10 個+合成母音 4 個を学ぶ。	印刷教材等による授業 (課題送付)	教科書を読み課題①を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
2	第1課: 안녕하세요?(こんにちは。) 基本母音10個を学ぶ。	印刷教材等による授業 (課題送付)	教科書読み書き課題②を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
3	第1課: 안녕하세요?(こんにちは。) 基本母音10個を復習、合成母音4個を学ぶ。	印刷教材等による授業 (課題送付)	教科書読み書き課題③を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
4	第1課: 안녕하세요?(こんにちは。) 総合練習問題の文字の辞書順、読み方、書き練習をする。	印刷教材等による授業 (課題送付)	教科書読み書き課題④を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
5	第2課: 감사합니다.(ありがとうございます。) 基本子音14個(基本字5個+加画字9個)を学ぶ。	印刷教材等による授業 (課題送付)	教科書読み書き課題⑤を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
6	第2課: 감사합니다.(ありがとうございます。) ハングルの半切表を書く。子音の「가나다라」の歌を聞き、練習問題を解く。	印刷教材等による授業 (課題送付)	教科書読み書き課題⑥を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
7	第3課: 안녕히 가세요.안녕히 계세요,(さようなら。) 濃音5個を学ぶ。練習問題を解く。	印刷教材等による授業 (課題送付)	教科書読み書き課題⑦を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
8	第4課: 고맙습니다.(ありがとうございます。) 「ㄱ」行の合成母音7個を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読む。「의」の発音変化を復習する。	0.5	
9	第5課: 미안합니다.(すみません。) 終声子音(パッチム)を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読む。パッチムの三大原則しっかり覚える。	0.5	
10	パッチムの種類・読み方、連音化を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読む。④～⑤の内容を復習する。	0.5	
11	第6課: 처음 뵈겠습니다. (初めまして。) ㅇの弱化、濃音化、激音化、流音化、鼻音化を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読む。平音・濃音・激音の区別を復習する。	0.5	
12	第7課: 대학생입니다. (大学生です。) ~입니다/입니까? (~です/ですか、~는/은(~は)を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読む。自己紹介できるように復習する。	0.5	
13	第8課: 그게 뭐예요?(それは何ですか。) ~예요/이에요 (~です、~가/이(~が)を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読む。합니다体と해요体の違いを復習する。	0.5	
14	第10課: 漢数字を学ぶ。 第11課: 固有数字を学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読む。漢数字と固有数字を復習する。	0.5	

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

15	定期試験練習問題について解説する。これまでの学習内容をDVDで確認し、韓国ドラマを鑑賞する。	同時双方向型授業	テスト範囲の内容を復習する。	9			
試	定期試験：達成度評価、評価のポイント参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	50	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	50	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	8回目から同時双方向型授業に変更、定期試験(筆記試験)結果を50%で評価する。		試験練習問題プリントを配布し、説明する。		
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	1回目から7回目まで印刷教材等による授業行い、課題提出物などを50%で評価する。		課題提出物の添削、メールで返信(紙媒体は返却)する。		
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>①～⑦回目は印刷教材等による授業を実施：学習課題を web 上に提示し、課題提出物を添削・返信する。 ⑧回以降は同時双方向型授業を実施：15 回目の授業では定期試験練習問題のプリントを配布し、説明する。 Teams による同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症状況によって再度シラバスの変更が行われることもある。 担当教員：成 昌燮 教員の実務経験：大学入試センター教科科目第一委員会委員を務めた経験がある。 実践的授業の内容：必要な語彙や文法を学び、日常挨拶文を学習する。</p>							